

	コード	名 称	区分	コード	名 称		
事業名	523	橋梁維持補修事業	会計	01	一般会計		
			款	08	土木費		
			項	02	道路橋りょう費		
基本 施策	50	市内道路網を機能的に強化する	目	04	橋りょう維持費		
			細目	348	橋梁維持補修事業		
行革大綱の重点事項番号			細々目		01	橋梁維持補修事業	
担当部課	コード	190500	担当者 氏 名	山本 昇	連絡先	43 -	2323
	名 称	建設1課				(内線)	236

事務事業の概要(Plan)

対象(誰を、何を)		橋梁を利用する人		※対象件数	
成果(どうする)		橋梁維持管理業務として、橋梁維持補修工事を実施し、安全・安心で快適な橋梁環境が提供される。			
根拠法令・要綱等		道路橋示方書			
開始年度	平成	年度	関連事業		
終了年度	平成	年度			
H21 事業 内容	橋梁の維持管理業務として、橋梁維持補修工事を実施する。				
社会情勢の 変化等					

整備内容(「施設の建設」「整備事業」のみ記入)

1 建設用地	
2 建設面積 (延床面積)	
3 規模・構造	
4 総事業費	千円

運営体制(「施設の建設」「施設の管理・運営」のみ記入)

1 運営主体	
委託先	
2 配置人員	人
3 年間運営費	21,596 千円
4 市内の 類似施設	

事務事業実施にかかる業績とコスト(Do)

活動 指標	指標名	単位	実績値		目標値	
			H20	H21	H22	H23
	橋梁維持補修箇所数	件数	目標 5	目標 12	12	12
			実績 5	実績 12		
			目標	目標		
			実績	実績		

成果 指標	指標名	指標設定の考え方	単位	実績値		目標値	
				H20	H21	H22	H23
	橋梁維持補修箇所数	住民の安全・安心の観点から、点検を強化し、その補修箇所数の成果を以って満足度を判断する指標とした。	箇所数	目標 5	目標 5	12	12
				実績 5	実績 12		
				目標	目標		
				実績	実績		

投入 コスト			H20 決算	H21 決算	H22 当初予算	H23 当初要求
	直接事業費計 (A)		(千円) 8,789	(千円) 21,596	(千円) 19,000	(千円) 10,000
	A の 財 源 内 訳	国庫支出金				
		県支出金				
		地方債				
		その他一般財源	0	0		
	事業投入人件費 (B)		0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600	0.5人 3,600
	フルコスト(A)+(B)		12,389	25,196	22,600	13,600

事務事業の評価(Check)

判断の基準(該当項目に○をつけてください)			備考欄(特記事項)	
必要性	法律(条例は除く)で実施が義務付けられている事業		橋梁の毀損・瑕疵は、重大事故につながる危険性が大きく、利用者の安全確保の観点から、橋梁の維持管理は重要である。	
	個人の力だけでは対処し得ない社会的・経済的弱者を対象に、生活の安定を支援し、あるいは生活の安全網(セーフティネット)を整備する事業			
	特定の市民や団体を対象としたサービスであるが、サービスの提供を通じて対象者以外の第3者にも利益が及ぶ事業			
	事業開始からの目標・目的を概ね達成している事業			
	市民にとっての必要性は高いが、多額の投資が必要、あるいは事業リスクや不確実性が存在するため、民間だけではその全てを負担しきれず、これを補完する事業			
	市民が社会生活を営むうえで必要な生活環境水準の確保を目的とした事業			
	国や県、民間が同様のサービスを提供している事業	○		
	市民の生命、財産、権利を擁護し、あるいは市民の不安を解消するために必要な規制、監視、指導、情報提供、相談等を目的とした事業			
	民間のサービスだけでは市域全体に望ましい質・量のサービスが確保できず、これを補完・先導する事業	○		
	受益の範囲が不特定多数の市民に及び、サービス対価の徴収ができない事業			
事業の対象や環境の変化により、事業ニーズが薄れていない事業				
【○をつけた場合、ニーズの具体的内容、根拠となるデータ等判断理由】				
財政状況を考慮し、事業を休廃止した場合、市民生活への影響が大きい事業				
【○をつけた場合、影響の内容及び判断理由】				
有効性	事務事業の継続、達成度や実績を高めることで成果指標の向上が期待できる。	○	橋梁の毀損による事故を防止し、安心・安全な利用を図る。	
	基本施策の目的を実現するために現在の事務事業の内容は適切であり、基本施策に対して貢献度も高い。	○		
サービス水準や対象を見直す余地がある。				
達成度	当初設定した計画を	100%	実施している。	【計画に遅れが生じている場合、改善策】
	予算の繰越の有無	無		
	【予算の繰越がある場合、繰越の種別】			
効率性	他の事業主体の活用、事業移管が可能である。		○	橋梁点検の強化を図り、計画的な補修に努め、経費の軽減を図る。
	基本施策の中で類似・重複する事務事業がある。			
	【事業名】 道路維持経費			
	受益者負担を求めることができる事業である。			
	全体コストにおける負担構成は適正である。			
	コストに見合った効果となっていない。効果を絞り込むことでコストを削減する余地がある。			

昨年度の評価結果に基づく改善策への取り組み状況

改善策	橋梁点検の強化を図り、毀損箇所の早期発見と必要最小限の補修に努める。		
昨年度の 取組状況	【状況】	計画のとおりに進んでいる	
	【詳細】	橋梁高欄の塗装と破損箇所の修繕を行うとともに、橋長15m以上の橋梁点検を実施した。	

今後の方向性(Action)

担当課長氏名	北山 太加視	
事業の方向性	【方向性】	現状維持
	【理由】	
	今後老朽化する道路橋の増大に対応するため、長寿命化修繕計画を策定し、従来の事後的な修繕及び架替えから予防的な修繕及び計画的な架け替えへと円滑な政策転換を図り、橋梁の長寿命化並びに橋梁の修繕及び架け替えにかかる費用の縮減を図りつつ、地域の道路網の安全性・信頼性を確保していく。	
現時点における課題、その他	平成23年までに、全市の橋長15m以上の橋梁点検・長寿命化修繕計画策定が完了する予定であるが、15m未満の橋梁点検・修繕計画が遅れている。	
課題、その他に対する改善策 (いつまでに、何を、どうする)	社会資本整備総合交付金事業では、政策目標の達成に向けて、今年度から「効果促進事業」により15m未満の橋梁についても橋梁点検費・計画策定費が要望可能となったため、検討を加えることが必要である。	